

やいた応援

かわら版

創刊号

平成28年8月1日

編集/やいた応援かわら版編集委員会

発行/矢板市秘書広報課

電話：0287-43-3764

ファクス：0287-43-2292

Eメール：

yaita@city.yaita.tochigi.jp

「やいた応援かわら版」

創刊号発刊にあたって

矢板市長

齋藤 淳一郎

社会経済情勢の多様化、複雑化や、地方財政危機の到来に伴い、従来から画一的とされる私たちの行政が、住民の皆さんのさまざまなニーズに応えていくことができなくなっています。

また、最近注目されている国の「地方創生」が、これまでの一連の地域振興策と異なっているのは、「予算のバラマキはしない」「地方の自主性を基本とする、最大限尊重する」といった点です。

こうした変化を矢板市政に当てはめてきた時に、市役所だけで矢板のま

「やいた応援かわら版」は、「矢板の隠れた良さを紹介～先にあるのは明るい未来～」をコンセプトにしています。

くりをしていくことの限界に気付かされます。そして市民の皆さんのお力をお借りしながら、時には進んで汗を流していただきながら、また市内の企業、団体の民間活力を、矢板のまちづくりにもっともっと注入していただく必要性を痛感させられます。

遠藤前市長さんは、これらの取り組みを「市民力」と評していました。今回装いも新たに再スタートを切る「やいた応援かわら版」にも、こうした思いが込められています。

「広報やいた」では取り上げないような、私たち行政が見落と

しがちな市民の皆さんの頑張りや、市内の企業、団体の活躍にスポットを当てたりすることで、ふるさと矢板の未来を切り拓く道標にしていきたいと考えています。

先日、「やいた応援かわら版」の編集会議において任命書をお渡しする機会がありました。そこでは六人の市民記者さんが、編集方針などについて熱心に議論していました。たとえ記者として原稿を執筆しなくても、身近な情報を持ち寄ってもらうだけで、「やいた応援かわら版」の編集者の一人だと思えます。

一人でも多くの市民の皆さんに「やいた応援かわら版」の紙面づくりにご参加いただき、市民目線で矢板の今を切り取り、

明るい未来を展望していただきたいと思います。また読者の皆さんには、「やいた応援かわら版」の温かい手作り感をお楽しみいただきたいと思います。



市民記者のみなさんとの懇談の様子